

英字新聞の読み方 応用編 その18

新学期も始まった4月になりました。そこで今回は「Back to the Basic」として、今一度読み方の「基本」をおさえながら最近の記事を読んでみましょう。見出しやリード文の決め事を確認することでより早く正確に読みこなすことができるようになります。まず見出しの基本は記事内容の要約ですから、見出しを理解することがやはり先決です。そして次に本文全体の最も重要なポイントをまとめた第1パラグラフであるリード文（書き出し）を読むことです。リード文では「誰が（何が）どうした」というポイントが肝心ですからそれをまず見つけることです。

では様々な分野からのニュースを読んでみましょう。

例文1 最初は東日本大震災の復興のシンボルである三陸鉄道復活の記事です。

Beloved Sanriku Railway making full comeback

KAMAISHI, Iwate Prefecture--A local railway operator here that won the hearts and minds of the nation with its tireless efforts to rebound from the earthquake and tsunami disaster three years ago is set to resume full services on April 6.

ヒント： 見出しの特色として、使われる動詞は記事内容の臨場感をだすため、現在形で書かれるのが常ですが、「be」動詞はスペースの関係からよく省略されます。この記事では動詞の **making** という進行形の前に **is** が省略されています。ここに役立つ主な見出しの文法を挙げておきます。①動詞は過去のことでも現在形を使う ②be 動詞、冠詞などはしばしば省略される ③動詞の過去形（過去分詞）は受身形 ④to +動詞は未来を表す ⑤文中のカンマは **and** を表す ⑥セミコロンは **but** や文の区切りを表す ⑦コロンは発言者や発信源を表す、などがあります。

リード文はほぼワンセンテンスで書かれるのが一般的で、重要な事柄から順に並びますが、この記事の冒頭の主語 **A local railway operator** を **that** 以下で長々と説明してそのあとに本動詞 **is set** があります。主語の前にある冒頭の地名「**KAMAISHI**（釜石）」は **Dateline** と呼ばれ、記事の発信地や日付を記します。現在では日付は文中に入れここにはありません。

語句：（見出し）**Beloved** 愛される、**(is) making full comeback** 全線復帰する

（リード）**A local railway operator** 地方の鉄道会社、**won** 勝ち取った、**hearts and minds of** ～の心、**the nation** 国民、**tireless efforts** 根気強い努力、**rebound** 立ち直り、**disaster** 災害、**is set to resume** 再開に向かう、**full services** 全面運行

試訳：（見出し）愛される三陸鉄道、全線復旧

（リード）岩手県釜石発——三年前の地震と津波の被害から立ち直るための根気強い努力で国民の心を勝ち取った地元鉄道会社は、4月6日、全線復旧再開へ向かう。